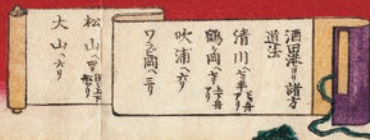


山形県の成立・日清日露戦争などの出来事、
色鮮やかな引き札や電話機・蓄音機など、
当館所蔵の明治時代の資料を多数展示します!



酒田市立資料館 第二〇七回企画展

酒田の明治時代

文明開化のおもいで



▲錦絵 酒田の商店風景(明治期)

開催期間 平成30年

6月16日(土)
～8月27日(月)

展示変更に伴う休館日: 6月12日～15日、8月28日～31日

開館時間

午前9時～午後4時30分

入館料

一般100円、学生50円
(土日は小中学生無料)



▲デルビル磁石式乙号卓上電話機(明治30年頃)

明治時代の「幻灯」を見てみよう!

開催日: 7月22日(日)

時間: ①午前11時 ②午後1時 ③午後2時
(各回15分程度)

1階企画展示室にて映写します。

参加無料(入館料必要)・申込不要です。

明治時代に作られた「幻灯機」
を使い、当時のガラス板を白壁に
映します。

ちょっとだけ明治時代にタイム
スリップした気分になれるかも?
お気軽にお越し下さい♪



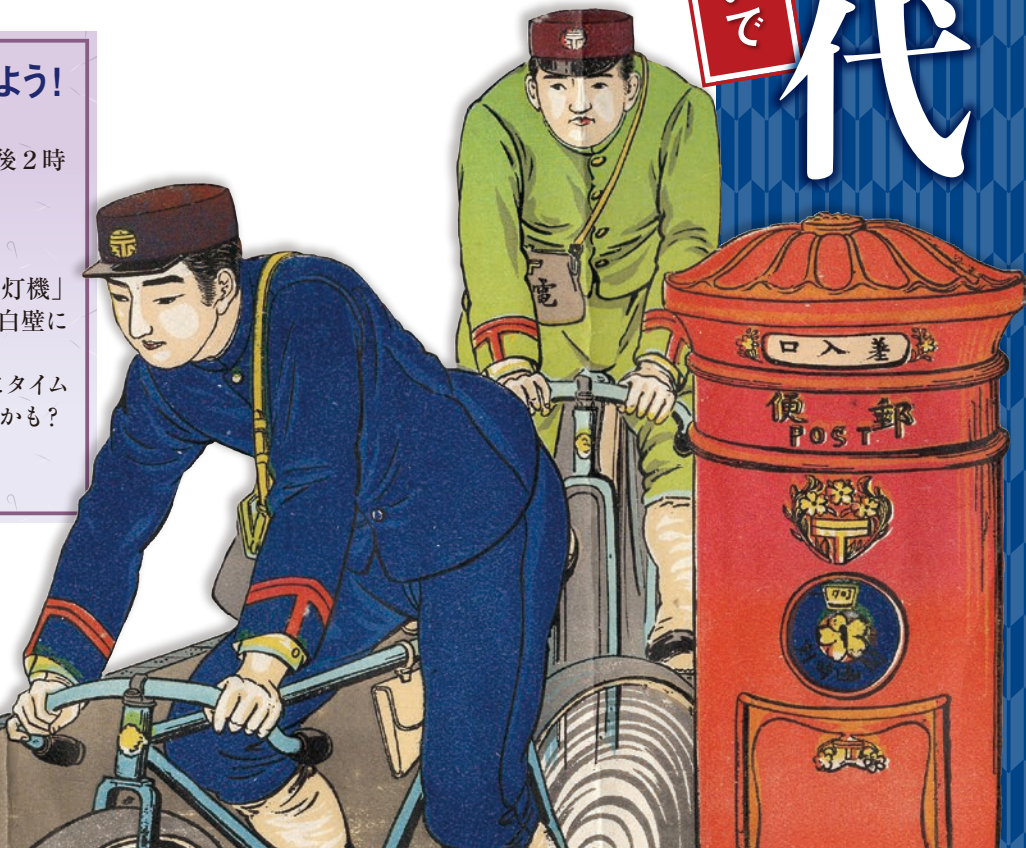
開館40周年

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16

電話・FAX 0234-24-6544

商店引き札(広告)より「郵便配達員」▶
(明治中期～後期)





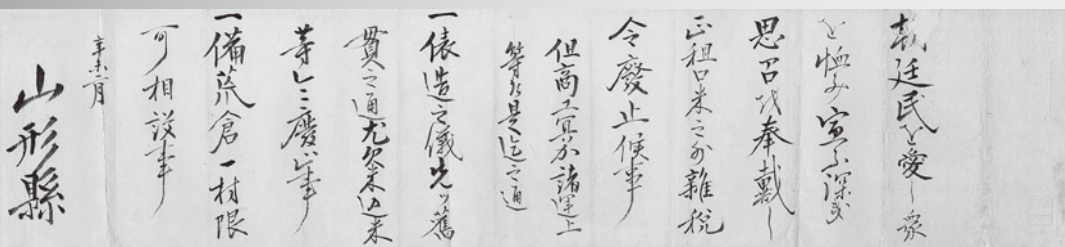
▲帆船が入港する酒田港(明治中期頃撮影)

◀石油ランプ(明治期)

戊辰戦争敗北から始まった庄内の明治時代は、転封阻止運動や天狗騒動・ワッパ騒動など、混乱の中でスタートしました。また、海運から鉄道が主流となり、西廻り航路に依存していた港町酒田にとっては、苦難と転換の時代でもありました。

開国後に外国から次々に新しい技術・文化がもたらされ、裕福な酒田商人は電話やランプ、レコードなどを町に持ち込み、人々を驚かせます。明治40年代には人々の憧れであった電気・電話が町に整備され、ライフスタイルが変わっていきます。その一方、庄内地震などの災害、日清・日露戦争といった、町を揺るがす大きな出来事も起きました。

当企画展では、酒田がどのように近代化の道を歩んでいったのか、文書や写真、色鮮やかな引き札、生活道具などからご紹介します。



山形県布告(明治4年)

明治4年(1871)、県が独断で雑税免除を決定した際に出された布告文。布告は政府によって即座に撤回されますが、政治に不満を持つ民衆たちが起こした「ワッパ騒動」の一要因となりました。

展示内容

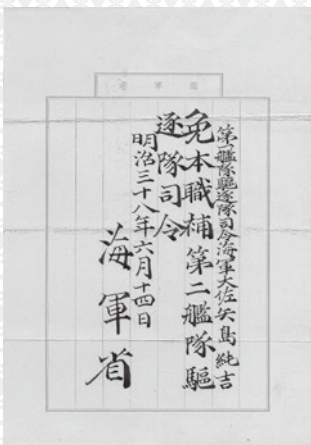
- 明治政府と自由民権運動
- 日清・日露戦争
- 電話・電灯のスタート
- 学校のはじまり
- 明治時代の最新アイテム など

商店看板や鮮やかな引き札も多数展示します



商店の引き札(明治期)

商店が顧客に配った広告チラシです。当時の流行や風俗が描かれており、明治のにぎわいを伝える資料です。



▲海軍からの第二駆逐司令任命書(明治38年)



▲金鶏勲章(明治期)

酒田出身の海軍中將 矢島純吉資料



協力者一覧

旧鑑屋・酒田市立光丘文庫・佐藤艸子氏
東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫(五十音順)

次回企画展予告 第208回企画展

幕末酒田の異才・本間郡兵衛

開催期間 9月1日(土)~11月18日(日)

お問い合わせ

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16

電話・FAX 0234-24-6544



幻灯機とガラス板(明治期)

ガラス板を使った映写機で、映画の前身とも言われます。

